

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和 6年 1月 23日

事業所名: すまいる・きっず

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習スペース、遊具スペース、活動スペース、サンルームをそれぞれプログラム、課題、余暇等に分けて指導訓練スペースとして確保している。	はい: 93.8% どちらともいえない: 0% いいえ: 0% わからない: 6.2%	保護者の方が事業所内に入る機会が少ない為、今後もブログやSNSを通して、施設内の様子を周知していく。
	2 職員の適切な配置	職員の配置は法定で定められた職員数以上を確保している。	はい: 90.6% どちらともいえない: 6.3% いいえ: 0% わからない: 3.1%	今後も継続して、法定で決められた職員数以上の配置を徹底し、その上で各職員の能力の向上を図っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	一日のスケジュールや個別に対応した視覚支援を用意している。玄関内の段差など構造上バリアフリー化できない箇所がある。	はい: 84.4% どちらともいえない: 0% いいえ: 0% わからない: 15.6%	バリアフリーが困難な個所は、指導員が補助を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、子どもたちが触れたものを中心に清掃、消毒を行い、清潔を保っている。インフルエンザ等の感染症対策として、30分に一度の手消毒を継続している。	はい: 87.5% どちらともいえない: 0% いいえ: 0% わからない: 12.5%	清掃や消毒など担当を決め、日々のローテーションの中で漏れなく行っている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々、朝礼と終礼を実施し、当日の業務の振り返りを全職員で行っている。また、改善点や注意点を全体で共有し、支援目標の達成に向けて尽力している。		イベントや遠足も再開した為、子どもたちの安全を第一に事前の打ち合わせと、振り返りを丁寧に実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	月に一回、別事業所と合同で会議を行っている。その際、業務報告や振り返りを行い、情報の共有化を図っている。		今後も保護者に楽しんでもらえるよう、別事業所からの指摘やアイデアを積極的に取り入れていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的に全職員が事業所内研修に参加できるよう、研修の機会を設けている。		全職員に研修会の内容が周知できるよう、資料の配布や分かりやすく伝える。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者に直接聞き取りを行い、アセスメントシートを参考に放課後等デイサービス計画の作成を行っている。	はい: 96.9% どちらともいえない: 3.1% いいえ: 0% わからない: 0%	前回同様、保護者と直接やり取りをし、保護者と子どもたちの意見を聞きながら放課後等デイサービス計画を作成する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動は、子どもたちに応じて課題や学習に日々取り組んでいる。集団活動は曜日に別プログラムを実施している。	はい: 90.6% どちらともいえない: 6.3% いいえ: 0% わからない: 9.1%	子どもの年齢や発達に合わせた活動を行っていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者とのモニタリングを参考に、担当者会議の中で支援項目や支援内容を決定している。		今後も、担当者会議で職員間で話し合い、子どもの状況に応じた支援内容を決定していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画をもとに、子どもに応じたの日々の療育や学習を実施している。	はい：87.5% どちらともいえない：9.4% いいえ：0% わからない：3.1%	放課後等デイサービス計画に沿った支援を実施していることを、保護者に分かりやすく伝えていく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	担当者がプログラム内容を立案し、チーム全体で計画、実行を行っている。		今後も、子どもたちが楽しめるプログラムやイベントを立案、実行していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	年間や月間で職員間できめ細やかな支援を設定しており、平日、休日、長期休暇に応じた支援を行っている。		休日や長期休暇は活動時間が長いので、日頃できない支援を実施し、平日は曜日別のプログラムを中心に支援を実施していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日別のプログラムを行っている。プログラムの内容も定期的に子どもたちが飽きないよう変更を行っている。	はい：87.5% どちらともいえない：9.4% いいえ：0% わからない：3.1%	今後も子どもたちがプログラムを楽しめるよう、定期的にプログラム内容の変更を行っていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々の朝礼で当日の流れについて話し合っている。朝礼に参加できなかった職員には送迎表、日案、人員配置表、本日の連絡事項を使って支援内容や役割分担、注意事項を説明している。		今後も職員間で役割分担や支援内容を明確に伝えていく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日々、終礼(職員会議)を行い、当日の振り返りやヒヤリハット、現場で起こったことを職員間で話し合っている。		終礼で話し合われた改善点や注意点を全体の共有事項として「本日の連絡事項」にし掲示する。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別の活動記録を職員が毎日記入している。課題やプログラムの記録は担当職員が子どもたちの様子を詳しく記録し、送迎時に職員から保護者に伝えている。		子どもたちの様子を正確に記録し、今後の支援に役立てる。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者と直接モニタリングやアセスメントを実施している。聞き取った内容をもとに担当者会議を行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。		今後も保護者に寄り添った計画の見直しができるよう、直接のモニタリングやアセスメントを実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	毎月、各市町の相談事業支援事業所とモニタリング会議を行っている。学校や保護者から要請があれば、ケース会議に参加する。		今後も、各関係機関との連携をより強化していく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ、医療的なケアが必要なケースはなかった。		今後、医療的ケアが必要なケースに備え、関係機関との連携を進める。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ、医療的なケアが必要なケースはなかった。医師からの申し渡しを保護者から伝達があった時は、その都度対応している。		医療的ケアが必要なケースが出た際には、主治医や医療関係機関との連携体制を整える。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	各市町村の相談所や事業所と連携し、児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行の際には情報共有を行っている。		保護者が安心して利用できるように各関係機関との連携を強化する。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	障害福祉サービス事業所に移行する際には、相談所を通じて作業所との情報共有を行った。		障害福祉サービス作業所への移行の際には、相談所、事業所と連携し、支援内容などの情報を共有する。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	担当職員に研修の受講を促進している。研修内容は担当職員から、全体に周知している。		研修会の開催情報は全体に周知し、研修への参加を促していく。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ禍があった為、地域との関りが少なくなっていた。	はい：53.1% どちらともいえない：15.6% いいえ：12.5% わからない：18.8%	コロナ禍も終息したので、地域のコミュニティの活動に積極的に参加していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	以前は、地域の夏祭りに出店するなどの活動が行えていたが、コロナ禍があった為、現在は参加できていない。		コロナ禍も終息したので、行事等の実施・参加をすすめる。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時には、支援の内容を説明し、契約時には利用者負担等についての説明を行っている。利用者負担に変更が場合は、その都度連絡を行っている。	はい：93.8% どちらともいえない：0% いいえ：3.1% わからない：3.1%	今後も、必要であれば再度保護者に説明を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	毎回、直接、もしくはお電話にて放課後等デイサービス計画の支援の内容を説明している。	はい：96.9% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：3.1%	今後も保護者への支援内容の丁寧な説明を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者から相談があれば、その都度、必要な支援やアドバイスを伝えている。	はい：68.8% どちらともいえない：6.2% いいえ：3.1% わからない：21.9%	今後も、保護者によりそいながら、必要な支援を行っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の送迎時や電話、LINEを用いて子どもに関する情報を保護者に伝え、情報の共有を図っている。	はい：96.9% どちらともいえない：0% いいえ：3.1% わからない：0%	引き続き、子どもの状況や課題の内容などを保護者に細かく伝えていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から悩み事や相談事があれば、その都度、面談や電話、ライン等で必要な助言や支援を行っている。	はい：81.3% どちらともいえない：12.5% いいえ：6.3% わからない：0%	今後も、保護者に寄り添いながら、支援を行っていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ禍中、保護者会を行えなかったが、本年度は実施することが出来た。	はい：84.4% どちらともいえない：9.4% いいえ：3.1% わからない：3.1%	保護者会のことを皆さんに周知し、今後も保護者会を開催していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情窓口を設置していることを保護者に説明している。LINEや電話、直接何か苦情に関する内容があれば、迅速に対応している。	はい：81.3% どちらともいえない：3.1% いいえ：6.3% わからない：9.4%	今後も保護者からの苦情があれば迅速に対応することを心がける。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	見学時に保護者から本人の特性の聞き取りを行い、事業所でのどのような支援を受けたかの確認を行っている。送迎時に子どもの当日の様子を伝えている。	はい：87.5% どちらともいえない：6.3% いいえ：3.1% わからない：3.1%	今後も継続して、子どもや保護者と意思の疎通が取れるよう配慮を行っていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	例年同様、会報や活動概要を保護者に分かりやすくなるよう電子化して発信しました。	はい：100% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：0%	今回100%の「はい」を頂いているので、今後も保護者に分かりやすい発信を行っていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行っている。利用者の個人情報が第三者に漏れないよう徹底している。個人情報を使用する場合は、保護者に同意を得てから、使用している。	はい：87.5% どちらともいえない：9.4% いいえ：0% わからない：3.1%	今後も個人情報が外部に漏れないよう、厳重に管理していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは全て策定し、職員への周知も行っている。保護者には会報を通して、避難訓練や感染症対応について伝達を行った。	はい：87.4% どちらともいえない：0% いいえ：6.3% わからない：6.3%	保護者に分かりやすい緊急時、防犯、感染症対応マニュアルの策定を進め、周知していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	例年通り避難訓練を定期的実施している。実施する際は、子どもと保護者に連絡を行っている。防災動画や視覚支援を用いて避難時の対応方法を伝えている。	はい：96.9% どちらともいえない：0.0% いいえ：3.1% わからない：0%	今後も、避難訓練や防災訓練をする際は、事前に子どもたちや保護者に連絡し、結果報告は、送迎時の伝達やブログ、LINEで行う。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事業所内に虐待防止委員を設置し、日々の終礼時に虐待の疑いがある場合は、報告を行っている。虐待対応の研修にも参加している。		職員間で虐待の疑いがあれば報告し合える職場環境を作っていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在も、当事業所は身体拘束を行っていない。		今後、必要な場合があった時は、その都度事業所内職員や子ども、保護者に十分説明し了承を受けた上で記載する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者からアレルギーの確認を行っている。その情報を元に、おやつ提供の際は、職員間でアレルギーの確認を行っている。		今後も食物アレルギーの有無を保護者に確認し、職員間で情報共有を行っていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日、ヒヤリハットがあった場合は、職員間で情報共有を行っている。ヒヤリハット事例集及び事故報告書はその都度作成し、重要な事案は職員間で情報の共有を行っている。		今後も現在の取り組みを継続し、事故防止の為に職員間で情報を周知徹底していく。